

# 総合開発計画策定特別委員会

平成18年9月25日、第2回総合開発計画策定特別委員会を開催致しました。今回は前回の要望意見として出された「昨年度、総合計画策定にあたり当委員会として提言して来たものが総合計画実施計画書に如何に反映されているか」の回答説明書を資料として提出していただき、全般にわたる説明を頂きました。細部にわたってのチェックについては今回一日だけでは範囲が広すぎ、無理ということで、今後何回かに分けて行う事とし、次回については道路計画と港湾の利用促進について限定して行う事としました。

尚、浜岡荘跡地利用につきましても、平成13年10月以来長きに亘り検討がなされてきた案件でもあり、改めて執行部より過去からの経緯の説明がありました。現在、市としては「マレットゴルフ場と関連して健康施設としての効果が期待できる内容での本年度事業として、介護保険対象外の事業で効果が上がる事業が有るかの調査委託を考えている。これも電源三法の事業であるので、平成19年度までに完了しなければならぬ」との結論に達しました。

また、折りにあつたこと、地元と市で折りがつくような、具体的な方策を考えるべきとの意見が出されました。次回もう少し具体的な提案を頂くという事で、再度継続審議となりました。尚、審議過程で出されていた民間保育園との併設は考えにくいとの意見が出され、協議の結果、保育園の建設は文教厚生委員会を検討していくとの結論に達しました。



浜岡荘跡地

# 原子力対策特別委員会

## 浜岡原子力発電所5号機低圧タービンの調査結果 羽根の脱落原因推定される

9月13日の委員会において、6月15日過振動によって自動停止した5号機低圧タービンの原因調査を行っていた中部電力より調査結果の報告がありました。

5号機には3基の低圧タービンがあり、そのいずれにおいても12段目の羽根の取り付け部に折損、又ひび割れが確認された。その他の段については異状は認められなかった。

これらのことから試験、解折等により原因は、高サイクル疲労（金属材料に一定以上の力が繰り返して加わることによってひび割れが発生、進展して破損に至る現象）特有のもの

と確認された。又、高サイクル疲労を発生させた要因として、ランダム振動（タービン内の蒸気流の乱れによって羽根に発生する不規則な振動）等による振動応力が12段の羽根に集中的に作用し、その結果タービン根元取付部が疲労破損した可能性があると推定されることが確認された。

9月25日の委員会では、中部電力より3号機のハフニウム板型制御棒のひび割れの原因と対策、又、昨年6月30日発生した廃棄物減容処理建屋の火災について今後の予定、その他耐震裕度向上工事の状況

と確認された。又、高サイクル疲労を発生させた要因として、ランダム振動（タービン内の蒸気流の乱れによって羽根に発生する不規則な振動）等による振動応力が12段の羽根に集中的に作用し、その結果タービン根元取付部が疲労破損した可能性があると推定されることが確認された。

9月25日の委員会では、中部電力より3号機のハフニウム板型制御棒のひび割れの原因と対策、又、昨年6月30日発生した廃棄物減容処理建屋の火災について今後の予定、その他耐震裕度向上工事の状況



排気筒改造工事



12段動翼根元にも大きな渦流が見られます  
11段 12段 13段 14段  
渦流域の開始点  
13段、14段は設計上ランダム振動を考慮